

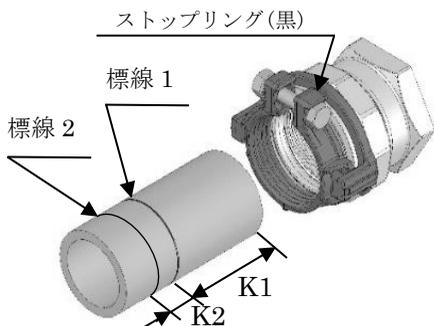
SKX-50 (キャップ当て締めタイプ)

SKX® 施工手順 [配管用ステンレス鋼管 (SUS) 用]

①パイプ挿入量記入

パイプ挿入量(K 寸)を測り、**標線を 2 本**記入して下さい。

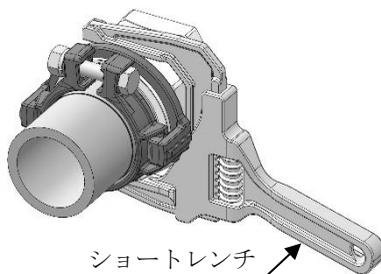
分解せずにストップリングとキャップが接した状態で標線 1 まで挿し込んで下さい。



- 注1) ・パイプ切断のカエリは取り除いて下さい。
 ・滑剤の塗布は不要です。
 ・管止めがある場合は、管止めから 3mm 以上あけて施工して下さい。

②キャップ本締め

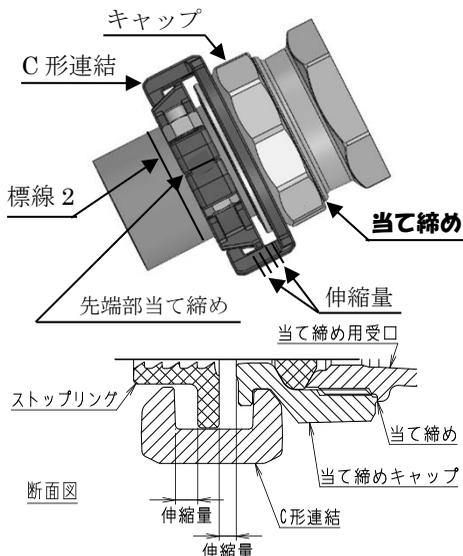
キャップを手締めしてパイプを固定した後、ショートレンチでキャップを**当て締め**して下さい。



③ストップリング本締め

C形連結を管中心方向に押えながら、**ストップリングを締めやすい位置**にして下さい。

ストップリングが 2 本の標線の間かつ両端伸縮量を保った状態で、ストップリング先端部を当て締めして下さい。



- 注 2)ストップリングは当て締め後さらに**締め付けすぎると破損などの不具合**が生じることがあります。
 注 3)管とストップリングが直角になるように締め付けて下さい。
 注 4)再施工時は「施工ハンドブック」を参照して下さい。

④接合完了

ストップリング端面が 2 本の標線の間にあることを確認してください。

キャップとストップリングの**締め忘れ**を確認して下さい。

≪管の取り外し≫

・ストップリング締め付ボルト・ナットとキャップを**緩めるだけで管と分離可能(分解不要)**です。

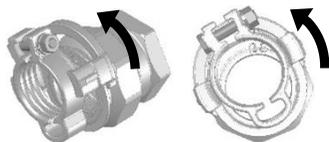
管 呼び径	SR 呼び径 (黒)	キャップ 呼び径	本体 呼び径	K (mm)		キャップ 〔参考締めトルク〕 N・m	ストップリング 〔参考締めトルク〕 N・m	六角 対辺	
				K1	K2				
50	50	G50	50	75	+10 -0	5	当て締め (60)	当て締め (35)	17

注) パイプエンドの場合、K 寸 (K1) は +5/-0 です。

SKXストップリング（SR）交換手順

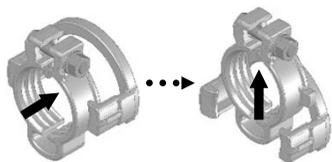
①C形連結取り外し

C形連結の一方を支点とし、他方をプライヤー等で回し、取り外して下さい。



②ストップリング取り外し

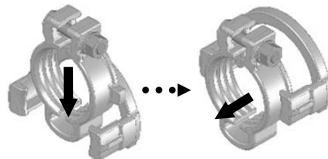
SRとC形連結を合わせ、SRを上方向に抜いて下さい。



③ストップリング交換

適用管用SRとC形連結を合わせ、SRを下方方向に入れ、C形連結から離して下さい。

※下図のように、ボルト・ナットを上にして、向きが逆にならないように注意して下さい。



④C形連結取付

C形連結をキャップの外溝に合わせて、C形連結上部を木槌等で軽く叩いて入れます。

